



〒108-0071
港区白金台 3-7-1
(3443)5666



<http://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>

「森のオリンピック

わくわく
3デイズ」



5歳児 演技「ようこそ日本へ」



森のリレー



心のバトンを繋ぐ

園長 新井智子

「森のオリンピック」と銘打った運動会は、今年も3日に分けて「わくわく3デイズ ホップ ステップ ジャンプ！」として開催しました。平日開催で学年や学級単位だったので、アットホームな雰囲気の中、普段通りの力を発揮し、オリンピックの要素のある競技や演技を楽しみました。

特に、幼稚園の最高学年の5歳年長組は、「ようこそ日本へー五輪の魂を胸に一」と、扇子を力いっぱい振りながら踊り、太鼓を響かせました。力強い踊りに加え、自分たちで考えた表現をオリンピックの五色のグループの友達と演じました。本園の伝統の森のリレーは、クラス対抗4チームで行いました。会場の声援に包まれ、勝負は拮抗し、競り合いとなりました。懸命に走る姿に胸が熱くなる思いで、終わると勝敗にかかわらず互いに健闘を称え合う清々しい姿が見られました。運動会委員を中心とする保護者の皆様には、3日間、円滑な運営となるよう準備や片付けなどご協力いただきありがとうございました。

さて、これで「森のオリンピック」の活動が終わった訳ではありません。翌週から園庭では、学年の壁を越えて3デイズの種目を行い、子ども同士の関わりが見られました。憧れの森のリレーでは、異年齢混合でバトンを持ってぐるぐる走る遊びをしたり、扇子やポンポンを貸し借りして他学年のリズムを踊ったりする姿が見られました。ステージに6色のカラー帽子が並んで、聖火台にトーチを持って誇らしげに点火する姿も見られました。『憧れの年長さんたちに教えてもらう』『年長さんの場所を走らせてもらう』『プラカードや聖火のトーチを持たせてもらう』など、年上の友達から心のつながりや遊びのバトンが渡っていく姿に心が温まります。見えないバトンをしっかりと受け継ぐ年中、年少児。来年の森の運動会(3デイズ)に思いを馳せ、学年を超えて元気いっぱい遊んでいます。

< 11月の指導のねらい >

3歳児

- 着替えや片付けなど、生活に必要なことに自分から取り組み、できた満足感を味わう。
- 友達と同じ場で、自分の思いを言葉や動きで表し、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 木の実や落ち葉など、秋の自然物に触れて遊ぶ楽しさを感じる。

4歳児

- 自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 学級の友達と過ごす喜びを感じ、生活に必要なことに進んで取り組もうとする。
- 園庭の落ち葉や実、栽培物など自然物に関心をもち、触れたり集めたりして遊びに取り入れる楽しさを味わう。

5歳児

- 発表会に向けて学級の友達と考えを出し合ったり、互いのよさに気付いたりしながら活動を進めていく。
- 遊びや生活の中で簡単な時間の見通しをもち、友達と意識しながら準備や片付けに取り組む。
- 秋の自然に関わり、気付いたことを伝え合ったり、遊びに取り入れたることを楽しむ。

